

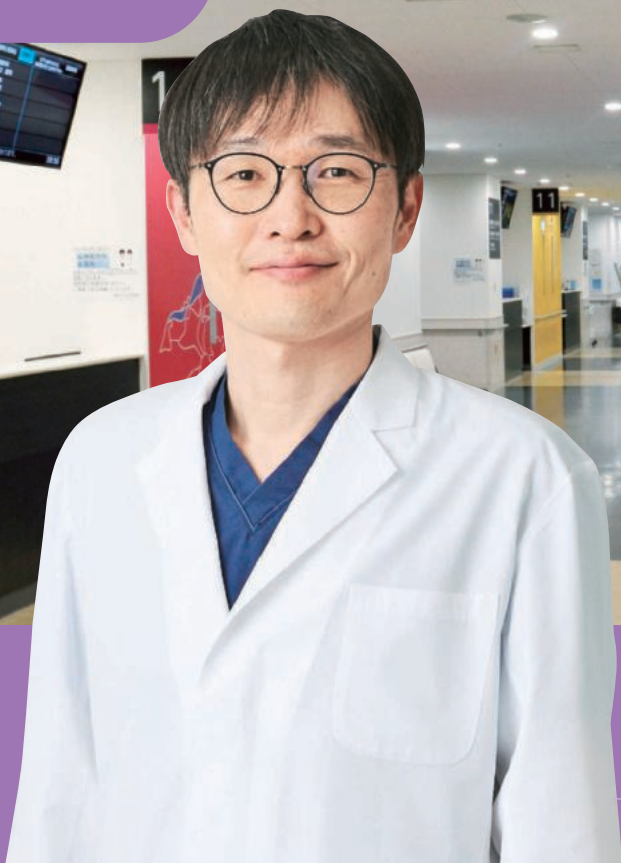


## *Department of Psychiatry*

地域連携情報誌

vol.43  
2023年7月

いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続けます



診療部 精神神経科 主任科部長  
(兼)認知症疾患医療センター長

お お た に き ょ う へ い  
大谷 恭平

平素より認知症疾患医療センターの運営にご協力を賜り誠にありがとうございます。

当院は平成24年10月より兵庫県から東播磨地域における認知症疾患医療センターの指定を受けています。

外来では物忘れ外来を通してMRI、SPECTなどの画像検査と心理検査を行った上で、より確実な臨床診断を行い、地域のニーズに応えるべく対応しております。運転免許返納問題をはじめ、高齢社会を取り巻く状況においては認知症疾患の診断ニーズが高まっています。

物忘れ外来を訪れる人は必ずしも認知症の方だけではなく、認知症に「見える」病気の方も含まれており、てんかんや正常圧水頭症、うつ病など改善可能な方々も受診されています。

認知症と診断されたときも診断後の本人・家族のケアが重要ととらえ、利用可能な社会制度や医療資源の紹介を重視したサポート体制を患者支援センターとともに整えています。認知症診断後の支援機能の一つとして、認知症交流会「おれんじサロン きらり」を今年度は年4回行う予定です。

さらにアルツハイマー型認知症の薬物治療は従来薬以外に抗アミロイドβ抗体製剤が上市される予定となっており、選択肢が増えることで様々な治療方法を検討できるようになります。

認知症疾患医療センターではこれら社会のニーズに応えるべく令和5年4月より物忘れ外来を週1回から週2回に増枠しております。

認知症患者さんが入院することになった場合も当院は認知症ケアチームが稼働しており、身体疾患治療のための入院のサポートを続けております。認知症ケアチームの介入率は前年度比1.25倍となっており、ますます認知症患者さんが安心して治療を受けることができるように体制の充実を図っています。

東播磨地域に安心して認知症患者さんとその家族が健康で不安のない生活を送れるように、認知症疾患医療センターはパワーアップしてこれまで以上に尽力していきたいと考えています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

# 精神神経科スタッフ一覧



## 大谷 恭平

■ 精神神経科 主任科部長  
(兼)認知症疾患医療センター センター長

### 専門分野

精神疾患全般

### 学会専門医・認定医

日本精神神経学会精神科専門医・指導医  
日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学専門医・指導医  
日本臨床精神神経薬理学会専門医・指導医  
日本老年精神医学会専門医・指導医  
精神保健指定医  
日本臨床精神神経薬理学会評議員  
日本総合病院精神医学会評議員  
日本サイコオンコロジー学会代議員  
日本サイコオンコロジー学会登録精神腫瘍医  
日本医師会認定産業医  
日本精神神経学会認定認知症診療医



## 植田 真司

■ 精神神経科 医長

### 専門分野

精神疾患全般

認知症患者さんに適切な治療やケアを提供して参ります。

### 学会専門医・認定医

日本精神神経学会精神科専門医・指導医  
日本医師会認定産業医  
日本精神神経学会認定認知症診療医



## 堀本 隼人

■ 精神神経科 専攻医

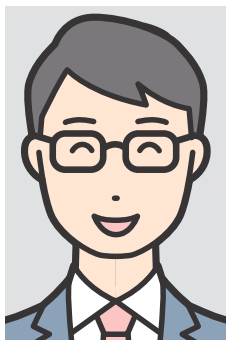
### 専門分野

精神疾患全般

患者さんはもちろん、ご家族を含め包括的なケアを目指します。

### 学会専門医・認定医

日本精神神経学会認定認知症診療医



## 久留嶋 祥吾

■ 公認心理師、臨床心理士

尊厳を傷つけぬよう神経心理検査を行い、それが支援への一助になればと思います。

# 認知症疾患医療センター



認知症ケアチーム

認知症疾患医療センターでは、認知症患者さんとそのご家族が住み慣れた地域で安心して生活するための支援を行う専門医療機関です。スタッフは認知症専門医師他精神科医師、精神保健福祉士、認知症看護認定看護師、公認心理師が在籍しており、問診、神経心理検査、血液検査、画像診断（CT/MRI/SPECT）等の総合的評価で診断を行っています。

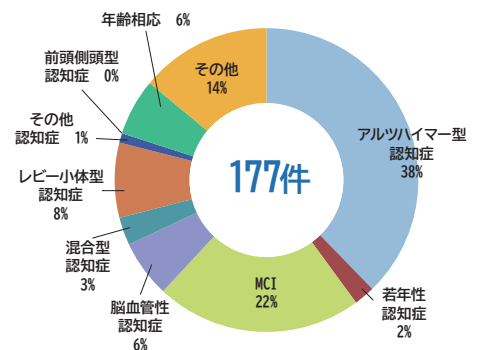
近年は日常生活に大きな支障がない段階で「最近物忘れが増えてきて気になる」ということで、物忘れ外来等を受診される方も多く、早めに自身の現状を把握して今後の生活に備えていこうという認識をもたれるご本人・ご家族も増えてきているように感じています。

早期の診断により認知症予防や緩徐進行も期待できますが、認知症と診断されてもご本人やご家族が生活しやすい環境を整えていくことや心理的なサポートの継続も重要であると考えています。地域の関係機関とも連携しながら地域医療の役割の一端を担えるようにこれからもスタッフ一同で努力していきたいと思えます。

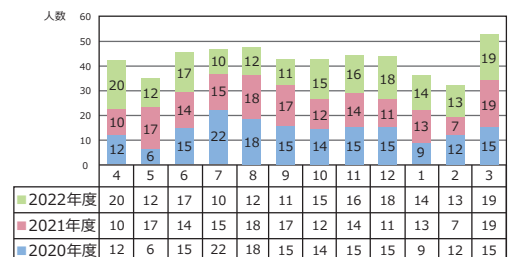
【精神保健福祉士 小野 和美】

※「物忘れ外来：毎週火・木曜日の各1枠」及び「精神神経科：通常外来」の初診については『完全予約制』となります。かかりつけ医、お近くの医療機関を通じて予約（病診連携）していただき、受診当日は紹介状原本・予約票・お薬手帳を持参いただくをお願いしています。

## 2022年度認知症診断結果

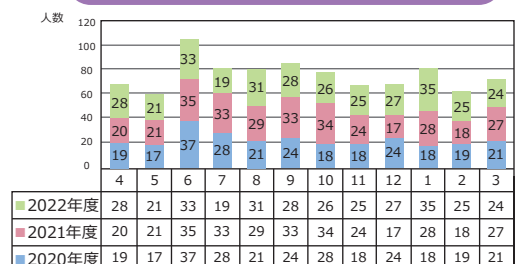


## 識別診断件数 3期比較



※直近3年ではコロナ影響もあり現状維持傾向（月平均約15～20件）

## 認知症相談件数 3期比較



※直近3年ではコロナ影響もあり現状維持傾向（月平均約25～30件）

## 認知症患者・家族交流会「おれんじサロン きらり」

認知症疾患医療センターでは、認知症診断後の支援機能の一つとして、2022年度から交流会「おれんじサロン きらり」を開催しています。

この交流会は、認知症と診断された方とご家族が今後の生活や認知症に対する不安の軽減を図ることができ、安心して地域生活の維持ができることを目的としています。

交流会の内容は、前半に認知症の疾患や対応についてミニレクチャーを行い、後半に参加者が日頃のお悩みや日常生活の現状など気軽にお話ができる場となっております。

2023年度は第1回目を5月11日（木）14時～15時に開催しました。交流会の参加者は認知症と診断された方のご家族が多く、日頃の悩み・相談や日常生活で工夫していることなどお話しただきました。参加者からは、交流会の内容に満足であり、また参加したいというお声もいただいています。スタッフ一同、認知症の方とご家族がより一層地域で安心して生活ができるようにサポートができればと考えています。

また、認知症の方が入院することになった場合には、急性期治療を安心かつ安全に受けられるように医療スタッフと認知症ケアチームが協働してサポートしています。中でも、認知症ケアチームは中核症状と行動・心理症状の観察とその対応や退院支援に向けての関わりを医療スタッフと共に考えています。これからも急性期病院で治療を受けながら、認知症の方のその人らしさや出来ることを大切にして、生活を支える支援を医療スタッフと協力しながら提供していきたいと思えます。

【認知症看護認定看護師 寺田 美奈子】



今年度の日程 (定員各回20名)	ミニレクチャーの内容 (内容が変更になることもあります)
2023年8月10日(木) 14時～15時	「認知症薬のお話」
2023年11月9日(木) 14時～15時	「認知症とリハビリテーション」
2024年2月8日(木) 14時～15時	「当事者・家族の声を聴く」(仮)



# 連携医紹介

当院と連携いただいている医療機関をご紹介します。

## つくだ整形外科

診療科：整形外科／リハビリテーション科／外科／リウマチ科／  
短時間通所リハビリテーション／訪問リハビリテーション

当院では一般的な整形外科に対する治療に加え、幅広い年齢層に対するリハビリテーションに力を入れています。スポーツ外来においては、投球障害治療に力を入れており、医師とセラピストと連携しながら疼痛ケア・競技復帰に向けた機能強化・再発しないための治療プログラムを展開しています。学童期の野球肘は、早い段階で適切な治療が重要です。野球を続けながら治療できる場合もありますので痛みのある方は、早めの受診をお勧めしています。今年は早期発見に向けてクラブチーム等の検診も進めていく予定ですので、興味のある団体の方は、気軽にお問合せください。他、骨粗鬆症や生活習慣病予防のトレーニング、セラピストを中心とした通所リハビリ、身体機能の低下により来院が難しい方には訪問リハビリを提供しています。今後も一人一人の病態や状況に合わせた治療・リハビリを通じて、地域の方々が、心身共に健康で良好な状態で過ごすことができる「Well-being」を目指します。



院長 佃 政憲 先生



所在地：高砂市今市 2 丁目301-1  
駐車場台数：50台

**TEL.079-444-5544**

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	-
午後 4:00~7:00	○	○	○	-	○	-	-

※休診日:木曜午後、土曜午後、日祝

## 登録医のご案内

当院では、地域の医療機関の皆様と共同して、より良い医療を提供していくために『登録医制度』を実施しております。現在は350名を超える地域の先生方に登録して頂いております。

医療連携をさらに充実させ、地域住民の要望に応じていきたいと考えておりますので、ご登録でない先生方におかれましては、ご検討いただけましたら幸いです。なお、当院ホームページにも登録医一覧を掲載させて頂いております。

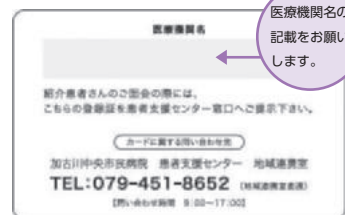
登録医の先生方には、

- ①開放病床のご利用・開放病床入院患者の手術、検査の立会・当院の診療録等医学資料の閲覧が可能となります。
- ②当院が主催する学術講演会、カンファレンスなどへ自由に参加でき、当院所有の図書の見学、複写も可能となります。
- ③インターネット予約をご利用いただけます。

## 患者面会のご案内

### 当院への来院時の流れ（ご紹介患者の面会）

- 1) 平日時間内であれば、患者支援センターにある入院支援窓口にお越しください。休日・時間外であれば、総合案内または時間外受付にお越しください。
- 2) 窓口にて上記の開放病床登録医登録証の提示をお願いします。
- 3) 病室に入られる際には、ご持参頂いた登録証を面会カードに入れていただきます。  
※スムーズにご案内するためにも事前に当院への来院が予定されている場合には、地域連携室に連絡をお願いします。患者さんへの面会は、当院の面会手順にそって対応しますので、ご面会できない場合もありますのでご了承をお願いします。



医療機関名の記載をお願いします。

## 第1回心不全地域連携ネットワーク開催のご報告



2023年5月22日（月）18：00～2市2町の9病院の医師・看護師・ソーシャルワーカーにご参加頂き第1回心不全地域連携ネットワークを開催しました。東播磨地域での心不全患者をどのように地域で診ていくのかについて活発な意見交換を行いました。今後も引き続き地域医療に貢献出来るように努めてまいります。

## 地域連携セミナー開催のご案内

加古川中央市民病院では、地域の医療機関との連携を深める為に地域連携セミナーを下記のプログラムで開催いたします。ふるってご参加下さいます様お願い致します。

開催日時 2023年8月24日（木）18:00～19:30

開催方法 会場（当院きらりホール）+Web（Zoom）のハイブリッド形式

- ① 18:00～18:05 開会宣言及び院長挨拶 理事長 兼 院長 大西 祥男
- ② 18:05～18:15 演題1：呼吸器センターの取組み【仮題】  
呼吸器センター センター長（兼）呼吸器内科 主任科部長 西馬 照明
- ③ 18:15～18:25 演題2：ダ・ヴィンチの取組み【仮題】  
外科/消化器外科 科部長 田中 智浩
- ④ 18:25～18:35 演題3：2市2町 心不全地域連携ネットワークの取組み【仮題】  
循環器内科 科副部長 伊藤 達郎
- ⑤ 18:35～18:40 閉会の挨拶 患者支援センター センター長 潤井 誠司郎
- ⑥ 18:40～19:30 懇談会

## 在宅医療連携研修会開催のご報告

第1回在宅医療連携研修会を6月15日（木）に1年ぶりに会場での開催となりました。

家族支援専門看護師の永富宏明による『エンドオブライフケアにおける家族看護』というテーマで、講演をいただきました。院外から16名、院内から16名の方の参加がありました。

研修会ではグループワークも取り入れ、短い時間ではありましたが、日頃の思い、体験談を交え共有できる機会となりました。

参加された方からは、「実践していることが概ねあっていることが確認できた」「最期まで最善の『生』を生きる事が出来るように支援する必要性を学べた」とのご意見がありました。

家族看護について、日々の対応を振り返る事が出来る研修会となりました。



## 在宅医療連携研修会のお知らせ

開催日【予定】	テーマ	講師	
7月20日	認知症看護	寺田 美奈子	認知症看護認定看護師
8月17日	緩和ケア	阪井 美緒	緩和ケア認定看護師
9月21日	糖尿病看護	春山 裕美	糖尿病看護認定看護師
10月19日	老人看護	黄 裕子	老人看護専門看護師
11月16日	慢性心不全看護	小林 彩香	慢性心不全看護認定看護師
12月21日	呼吸器疾患看護	高瀬 瑠美	呼吸器疾患看護認定看護師
1月18日	摂食・嚥下障害看護	窪田 容子	摂食・嚥下障害看護認定看護師
3月21日	皮膚・排泄ケア	橋本 円 丸山 澄美	皮膚・排泄ケア認定看護師

